

シヤチハタ株式会社

2021年11月24日

SNS で話題となった、気持ちを表す彩りが美しい朱肉の第三弾  
「わたしのいろ-きせつのうつろい-」発売

せかいは美しい色に溢れている。

同じような毎日でも、季節と共に様々な色に彩られ、わたしの思い出を作ってく。

シヤチハタ株式会社※（代表取締役社長 舟橋 正剛 本社：愛知県名古屋市）は、この度、彩りの異なる印影が残せる朱肉の第三弾「わたしのいろ-きせつのうつろい-」を2021年12月1日（水）の13時より公式オンラインストア「シヤチハタオフィシャルショップ」にて販売します。また、2021年12月4日（土）、5日（日）に開催される「東京アートクラフトフェスタ」及び、2021年12月16日（木）～19日（日）の4日間開催される「文具女子博2021」にて数量限定で販売します。

※社名表記は「シヤチハタ」ではなく「シヤチハタ」です。

この度発売する「わたしのいろ-きせつのうつろい-」は、季節の移ろいと共に変わりゆく色をテーマに、その色と自身の記憶・想いを重ね合わせ、しるす行為を通してその人だけの「わたしのいろ」を創り出します。作者である歌代氏と共にテーマを企画し、季節の移ろいを表す「うららか、あまおと、すずかぜ、いろづき、ぎんせかい」の5種類のカラー配色を設計しました。印鑑だけではなくデザイン性のあるさまざまなスタンプを使うことで、印面のデザインと色を組み合わせ、その時々のお気に合わせたしるすを残すことができます。

「わたしのいろ」は、“これからのしるす”をテーマに新しいプロダクトのデザインを募ったコンペ“第12回シヤチハタ・ニュープロダクト・デザイン・コンペティション”においてグランプリを受賞した歌代 悟（うたしろ さとる）氏の作品を商品化したものです。「わたしのいろ」は複数の色を織り交ぜながら手作りで制作しています。一度に多く作れないこともあり、2020年7月にテスト販売した際にはすぐに売り切れ、再販の希望を多くいただいたことから、受注販売を行いました。そして、2021年6月に発売した第二弾「わたしのいろ-ときのながれ-」も大変評判がよく、さまざまな使い方で楽しんでいただいております。

●商品イメージ

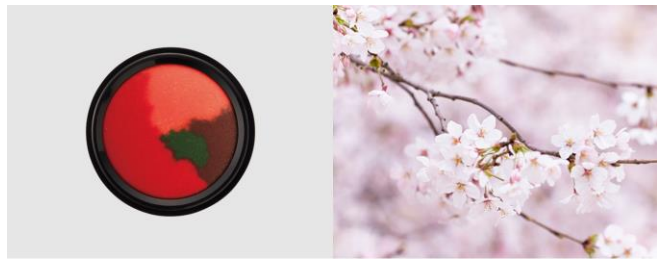


●商品ラインナップ

うららか

BRIGHT AND CLEAR

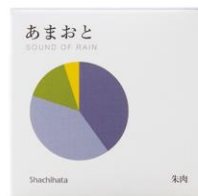
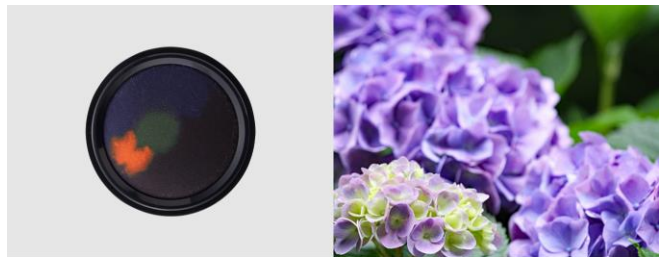
柔らかかに輝く「うららか」色



あまおと

SOUND OF RAIN

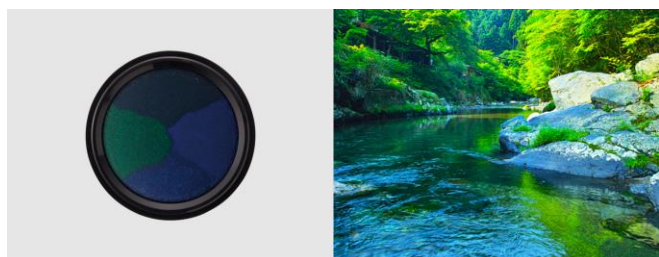
恵の雨降る「あまおと」色



すずかぜ

COOL BREEZE

暑さに涼生む「すずかぜ」色



## いろづき

AUTUMN LEAVES

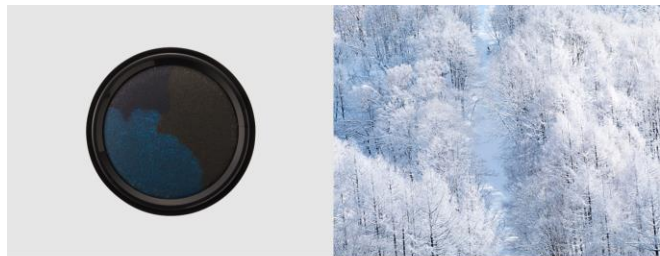
鮮やかに燃ゆる「いろづき」色



## ぎんせかい

SNOWSCAPE

雪舞い積もる「ぎんせかい」色



- 盤面サイズ：φ53.5 mm
- なつ印回数：約 2,000 回 ※インキ補充はできません

## ●商品特長

## • 擦す時の気持ちを表す美しい印影

朱肉をつける場所によって擦した時の印影が全て異なる彩りで残せる朱肉です。擦す人、擦す時々<sup>お</sup>の気持ちによって、しるし<sup>お</sup>の色が変わる、まさに自分だけのしるしを表現することができる朱肉です。

## • リクエストの多かった季節の移ろいと共に変わりゆく色をテーマにカラーを設定

「うららか」は、柔らかに輝く春の日差しと季節の花を、「あまおと」は、梅雨の散歩道で見かける雨に濡れる花と緑を、「すずかぜ」は、夏の暑さに沁みる水辺の爽やかな風を、「いろづき」は、鮮やかに燃ゆる秋の情景を、「ぎんせかい」は、舞い散る雪が辺り一面に降り積もった冬の景色をイメージしています。一つ一つ手作りのため、配色にはばらつきがあります。



**●正しい使い方**

あらかじめ印鑑に付いているインキをきれいに拭き取り、印鑑を盤面に一度だけ、しっかりと押し付けてインキを付着させ<sup>お</sup>捺してください。

※インキが付いた状態で、盤面の違う場所に印鑑を押し付けると、盤面が汚れる原因となります。

**●使用イメージ****●歌代 悟氏からのメッセージ**

これまでの常識や慣習、文化が大きく変化する中、「わたしのいろ」が第12回シャチハタ・ニュープロダクト・デザイン・コンペティションのテーマであった「これからのしるし」の一つの解釈として多大な反響をいただけていることを大変嬉しく思っております。

第三弾では、古くから日本人の感性を育んできた季節毎の情景とその美しさを表現しました。その上で、それぞれの色に対して、一つの捉え方だけでなく人それぞれの意味を見出すことができるのが「わたしのいろ」の面白さです。色の解釈から使い方まで、十人十色の楽しみ方を発見していただけたら幸いです。

